

6年生の理科は「体のつくりとはたらき」から学習します。名前（ ）

予習として取り組んでください。



① 「さあ、ガニガニ体操をしましょう。」



小きぎみにジャンプしながら、左右交互に足をあげて、ひざとひじをつける。

【ポイント】

力を入れて無理に足を上げようとせず、体の弾みを利用して足を上げることで。最初、あまり足が上からなければ、ひじの位置を下げて行ってもOK。無理なくできるようになったら、徐々にひじの位置を高くしていきます。5～10分ちようせんしましょう。運動不足ですよ。

② 5～10分やりましたね。体にどんな変化が起きましたか。

息 (いき)	
胸 (むね)	

なぜ、このような変化が起きるのでしょうか。手首や首すじなどをさわって予想してみてください。

③ ここでは「吸う空気」と「はいた空気」のちがいを検知管や石灰水を使って調べます。実験の様子は P39～40に書かれています。

○空気に含まれるもの

空 気	1 0 0 %
ちっそ	7 8 %
酸素	2 1 %
アルゴン	0.9 %
二酸化炭素	0.03 %
その他	...

○はいた空気にはどんな変化があるか予想して書きましょう。

○ () の中に当てはる言葉を書きましよう。(p41～p43)

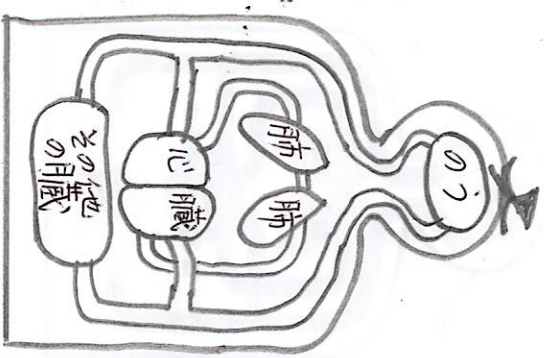
人は、肺で (①)) を取り入れて、(②)) を出している。肺から取り入れられた

(①)) は、肺の血管から (③)) に取り入れられる。また、(③))

の (②)) は、はく空気の中に出される。

(①)) を体に取り入れ (②)) を出すことを呼吸といいます。

- ④ 肺で酸素がいっぱいになった血液は、どのような仕組みで体のどこへ運ばれるのだろうか。今度はこの学習です。まず、血液の動き「ドクドク」が感じられる自分の体の部分（手首・首筋・胸）をさわってみよう。さあ、また『ガニガニ体操レッツゴー』（p45）（p45）
 体操後さわってみて思ったことを書きましょう。



○心臓の動きを【はく動】といい、それによって起こる血管の動きを【脈はく】と言います。

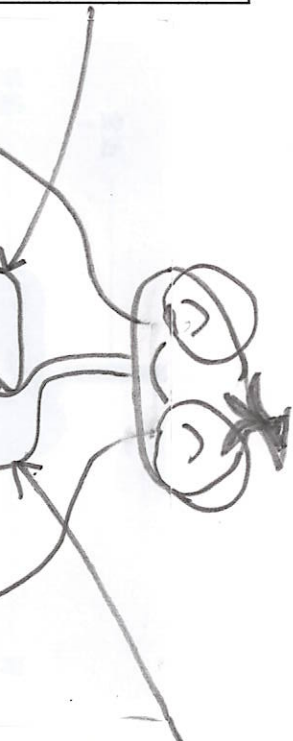
○肺で血液中に取り入れられた酸素が、どのような仕組みで体のどこへ運ばれるかまとめます。下の□の中から当てはまる言葉を選んで（ ）の中に書きましょう。(p46～p47)

血液は、（ ）の（ ）によって全身の血管を流れていく。血管は体の（ ）にあみ目のように張りめぐらされ、血液を（ ）に運んでいる。（ ）で取り入れられた（ ）も全身に運ばれる。また、血液中の（ ）も血液によって心臓に送られさらに血液によって（ ）に運ばれ、呼吸によって体の外に出される。

はく動 すみずみ ところどころ 心臓 肺 全身 下半身 二酸化炭素 酸素

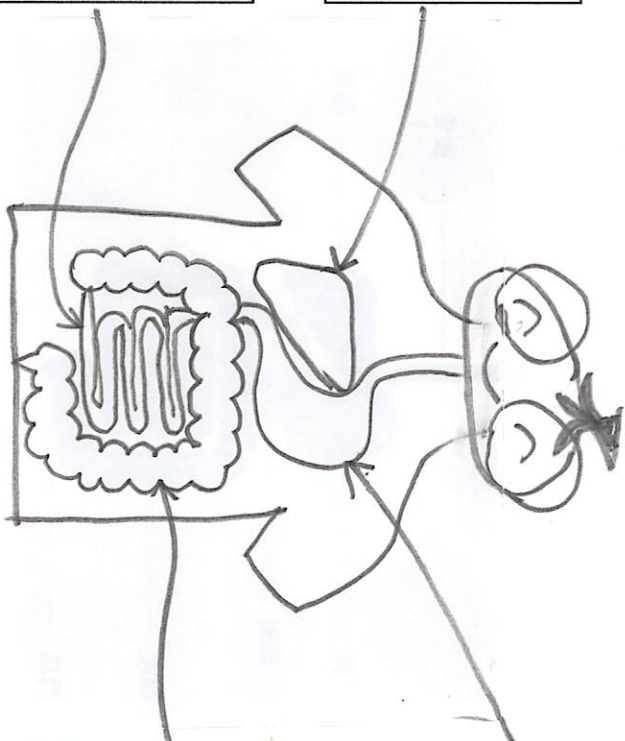
⑤ それぞれの【臓器】のはたらきを教科書を参考にして□の中に書きましょう

肝臓 (かんぞう)



胃 (い)

小腸 (しょうちよう)



大腸 (だいちよう)